

# *ES/1 NEO*

CSシリーズ

V05L21R2

Release News Letter

機能拡張

# 改版履歴

日付	版数	内容
2022/02/01	1	V05L21R2 リリース
2022/02/10	2	「5.2.1. PuTTY 0.76 への対応」を削除（機能が制限されているため）
2022/08/01	3	「3.1.2. 2022 年 7 月 31 日にてサポート終了」に変更 「3.1.4. 2023 年 7 月 31 日にてサポート終了予定」を追記 「3.1.5. Internet Explorer のサポート終了」に変更
2022/10/14	4	「3.1.4. 2023 年 7 月 31 日にてサポート終了予定」に以下を追記 SQL Server 2012 SUSE Linux Enterprise Server 11 「3.4.3. Microsoft 365 対応」 サポート終了のため、「○サポートバージョン」項を削除 「3.4.4. Microsoft 365 定期稼働確認（2022 年 7 月）」を追記 「4.1.1. Acquire 12.20 の提供」に以下を追記、変更 Windows Server 2022 Red Hat Enterprise Linux 8.0-8.4 を 8.0-8.6 に変更 Red Hat Enterprise Linux 9.0 「5.1.1. Control Center 12.20 の提供」に以下を追記 Windows Server 2022
2023/02/01	5	「3.1.3. 2023 年 1 月 31 日にてサポート終了」に変更 「3.1.5. 2024 年 1 月 31 日にてサポート終了予定」を追記
2023/08/01	6	「3.1.4. 2023 年 7 月 31 日にてサポート終了」に変更 「3.1.6. 2024 年 7 月 31 日にてサポート終了予定」を追記 「3.4.1. Microsoft Windows Server 2022 対応」の「○注意」を削除 「3.4.5.1. 製品廃止のお知らせ」に「2024 年 7 月 31 日製品廃止」を追記 「10.1.2. 設定ファイルを任意のパスに置けるように対応」を追記 「11.1.1. vSphere 8.0 への対応」を追記
2023/08/08	7	「3.4.5. Microsoft 365 定期稼働確認（2023 年 7 月）」を追記
2023/11/01	8	「3.1.5. 2023 年 10 月 31 日にてサポート終了」を追記 「3.2.1. ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間」に以下のとおり追記 V05L20R2 サポート終了済 「3.3.1. Control Center のサポート期間」に以下のとおり追記 Control Center 11.20 サポート終了済 「3.4.1. Acquire のサポート終了」を追記

# 目次

第 1 章	はじめに.....	1
1.1.	V05L21R2 における大きな機能拡張ポイント.....	1
第 2 章	前リリースとの性能比較.....	2
2.1.	ES/1 NEO CS シリーズ V05L20R2/Performance Web Service V05L20R2 との比較.....	2
第 3 章	ES/1 NEO CS シリーズ全般.....	3
3.1.	メンテナンスサポートを終了する動作環境のお知らせ.....	3
3.1.1.	2022 年 1 月 31 日にてサポート終了.....	3
3.1.2.	2022 年 7 月 31 日にてサポート終了.....	4
3.1.3.	2023 年 1 月 31 日にてサポート終了.....	4
3.1.4.	2023 年 7 月 31 日にてサポート終了.....	4
3.1.5.	2023 年 10 月 31 日にてサポート終了.....	5
3.1.6.	2024 年 1 月 31 日にてサポート終了予定.....	5
3.1.7.	2024 年 7 月 31 日にてサポート終了予定.....	5
3.1.8.	Internet Explorer のサポート終了.....	5
3.2.	ES/1 NEO CS シリーズのサポートについて.....	6
3.2.1.	ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間.....	6
3.2.2.	通常サポート中とサポート終了後の違い.....	6
3.3.	Control Center のサポートについて.....	6
3.3.1.	Control Center のサポート期間.....	6
3.4.	Acquire のサポートについて.....	6
3.4.1.	Acquire のサポート終了.....	6
3.5.	既存機能の拡張.....	7
3.5.1.	Microsoft Windows Server 2022 対応.....	7
3.5.2.	Microsoft Office 2021 対応.....	8
3.5.3.	Microsoft 365 対応.....	9
3.5.4.	Microsoft 365 定期稼働確認 (2022 年 7 月).....	10
3.5.5.	Microsoft 365 定期稼働確認 (2023 年 7 月).....	11
3.5.6.	製品/機能の廃止.....	12
第 4 章	Acquire.....	13
4.1.	新機能の提供.....	13
4.1.1.	Acquire 12.20 の提供.....	13
第 5 章	Control Center.....	14
5.1.	新機能の提供.....	14
5.1.1.	Control Center 12.20 の提供.....	14
第 6 章	CS-REPORT.....	15

6.1.	新機能の提供.....	15
6.1.1.	Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能の提供.....	15
第 7 章	CS-i5.....	16
7.1.	既存機能の拡張.....	16
7.1.1.	IBM i (i シリーズ) V7.3 に対応.....	16
第 8 章	MF-z/VM.....	17
8.1.	既存機能の拡張.....	17
8.1.1.	z/VM 7.2 への対応.....	17
第 9 章	CS-DB2 .....	18
9.1.	既存機能の拡張.....	18
9.1.1.	Red Hat Enterprise Linux 8 環境の DB2 V11.5 への対応.....	18
第 10 章	CS-SAP ERP .....	19
10.1.	既存機能の拡張.....	19
10.1.1.	トランザクション情報における CUA 関連項目の対応.....	19
10.1.2.	設定ファイルを任意のパスに置けるように対応.....	20
第 11 章	CS-VMware .....	21
11.1.	既存機能の拡張.....	21
11.1.1.	vSphere 8.0 への対応.....	21
第 12 章	CS-KVM.....	22
12.1.	既存機能の拡張.....	22
12.1.1.	Red Hat Enterprise Linux 8 への対応.....	22
第 13 章	CS-Storage for NetApp .....	23
13.1.	既存機能の拡張.....	23
13.1.1.	ONTAP 9.3 への対応.....	23
第 14 章	変更一覧.....	24
14.1.	本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧.....	24
14.1.1.	変更一覧.....	24

# 第1章 はじめに

## 1.1. V05L21R2 における大きな機能拡張ポイント

本リリースでは、以下の大きな機能拡張が行われています。詳細な内容につきましては、各機能の紹介ページを参照してください。

(1) ES/1 NEO CS シリーズ全般	: Windows Server 2022 対応	P.7
(2) ES/1 NEO CS シリーズ全般	: Microsoft Office 2021 対応	P.8
(3) Acquire/Control Center	: バージョン 12.20 の提供	P.13,14
(4) CS-REPORT	: Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能の提供	P.15

## 第2章 前リリースとの性能比較

### 2.1. ES/1 NEO CS シリーズ V05L20R2/Performance Web Service V05L20R2 との比較

本リリース「ES/1 NEO CS シリーズ V05L21R2/Performance Web Service V05L21R2」と「ES/1 NEO CS シリーズ V05L20R2/Performance Web Service V05L20R2」で処理時間を比較した結果です。

コンポーネント		結果	備考
pdbmagic2		－	変化なし
インポート処理		－	変化なし
CS-MAGIC		－	変化なし
CS-ADVISOR		－	変化なし
Flatfile Maintenance	検査	－	変化なし
	集約	－	変化なし
	管理	－	変化なし
CS-REPORT		◎	Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能を使用した場合。従来の貼り付け方法は変化なし。
Performance Web Service Uploader		－	変化なし
Performance Web Service Maintenance 定期メンテナンス		－	変化なし

●結果の記号について

- － : 変化なし
- ◎ : 処理時間が 2 割以上短縮
- : 一部の処理または条件で処理時間が短縮
- ▲ : 処理時間が 2 割以上増加

**メモ!**

実行環境のスペックや処理量によって同じ結果が得られない場合があります。

## 第3章 ES/1 NEO CS シリーズ全般

### 3.1. メンテナンスサポートを終了する動作環境のお知らせ

ES/1 NEO CS シリーズの安定稼働を図るため、機能強化および機能拡張に関わるメンテナンスサポートを終了する動作環境についてお知らせします。

#### 3.1.1. 2022年1月31日にてサポート終了

●対象サーバ

CS-Oracle

Oracle 18c

CS-Symfoware

Symfoware 7

Symfoware 8

Symfoware 9

Symfoware 10

CS-MySQL

MySQL Enterprise Server V5.6

CS-Java

Interstage Application Server Enterprise Edition V9.0

Interstage Application Server Standard-J Edition V9.1

Interstage Application Server Enterprise Edition V9.2

CS-RMON

Zabbix 3.0.x

APM Interface for Dynatrace

DynaTrace Appmon 7.2

MF-z/VM

z/VM 5.1-5.4

z/VM 6.1-6.4

---

**3.1.2. 2022 年 7 月 31 日にてサポート終了**

---

- 管理用マシン
  - 管理コンソール
  - Performance Web Service
  - Internet Explorer 11
  
- 対象サーバ
  - CS-Java
    - WebLogic Server 11g R1 (10.3.1 以上)
  
  - CS-Storage for NetApp
    - clustered Data ONTAP 8.2.x

---

**3.1.3. 2023 年 1 月 31 日にてサポート終了**

---

- 対象サーバ
  - CS-Oracle
    - Oracle 12.1.0
  
  - CS-Storage for NetApp
    - clustered Data ONTAP 8.3.x

---

**3.1.4. 2023 年 7 月 31 日にてサポート終了**

---

- 管理用マシン
  - SQL Server 2012
  
- 対象サーバ
  - SUSE Linux Enterprise Server 11
    - CS-SQL Server
      - SQL Server 2012
  
    - CS-DB2
      - SUSE Linux Enterprise Server 11
  
    - CS-Utility iim kickout
      - SUSE Linux Enterprise Server 11
  
    - CS-Java
      - Interstage Application Server Enterprise Edition V10.0
      - JBoss Enterprise Application Platform 5.1
  
    - CS-VMware
      - VMware vCenter Server 6.5
      - VMware vCenter Server 6.7
      - VMware ESX 6.5
      - VMware ESX 6.7



---

**3.1.5. 2023 年 10 月 31 日にてサポート終了**

---

## ●管理用マシン

SQL Server 2014 : Control Center 11.20 サポート終了にともない、サポート終了しました。

---

**3.1.6. 2024 年 1 月 31 日にてサポート終了予定**

---

## ●管理用マシン

Office 2013

## ●対象サーバ

CS-DB2

DB2 Enterprise Server Edition V11.1

---

**3.1.7. 2024 年 7 月 31 日にてサポート終了予定**

---

## ●管理用マシン

Microsoft Windows Server 2012

Microsoft Windows Server 2012 R2

## ●対象サーバ

Microsoft Windows Server 2012

Microsoft Windows Server 2012 R2

CS-MySQL : サポート終了にともない、製品廃止します。

MySQL Database V5.7

CS-Hyper-V

Microsoft Hyper-V Server 2012 R2

CS-Virtage : サポート終了にともない、製品廃止します。

Microsoft Windows Server 2012

---

**3.1.8. Internet Explorer のサポート終了**

---

Internet Explorer のサポートについては、2022 年 7 月 31 日にてサポート終了しました。

### 3.2. ES/1 NEO CS シリーズのサポートについて

#### 3.2.1. ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間

ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース	サポート終了
V05L22R1	2024/02 リリース予定	2026年10月31日 サポート終了予定
V05L21R2	2022/02/01 リリース	2024年10月31日 サポート終了
V05L20R2	2019/11/01 リリース	2023年10月31日 サポート終了済

#### 3.2.2. 通常サポート中とサポート終了後の違い

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正モジュールは、最新リリース、またはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正モジュールを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可
不具合修正モジュールの提供	可	不可

### 3.3. Control Center のサポートについて

#### 3.3.1. Control Center のサポート期間

Control Center のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース	サポート終了
Control Center 12.xx	2024/02 リリース予定	2026年10月31日 サポート終了
Control Center 12.20	2022/02/01 リリース	2024年10月31日 サポート終了
Control Center 11.20	2019/11/01 リリース	2023年10月31日 サポート終了済

### 3.4. Acquire のサポートについて

#### 3.4.1. Acquire のサポート終了

Control Center 11.20 サポート終了にともない、下記の Acquire バージョンをサポート終了しました。

バージョン	サポート終了
Windows Acquire 9.2/9.3/10.3	2023年10月31日 サポート終了済

### 3.5. 既存機能の拡張

#### 3.5.1. Microsoft Windows Server 2022 対応

分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-

○概要

CS シリーズ製品の稼働プラットフォームとして、Windows Server 2022 に対応しました。

○対応製品

- ・CS-MAGIC
- ・CS-ADVISOR
- ・CS-REPORT
- ・Flatfile Maintenance
- ・管理コンソール

### 3.5.2. Microsoft Office 2021 対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	—	—	—

○概要

Microsoft Office の最新バージョンである Microsoft Office 2021 に対応しました。

○効果

Microsoft Excel 2021 がグラフ作成に使用できます。

CS-MAGIC

CS-ADVISOR

Microsoft Word 2021 が報告書作成に使用できます。

CS-REPORT

○前提

Microsoft Office 2021 32bit 版の導入が必要です。

Microsoft Office 2007 以降が導入されている環境に Microsoft Office 2021 を導入する場合、ES/1 の設定を変更する必要はありません。

○注意

Microsoft Office 2021 64bit 版では動作しません。

### 3.5.3. Microsoft 365 対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

Microsoft Office の最新バージョンである Microsoft 365 に対応しました。

○効果

Microsoft 365 の Excel がグラフ作成に使用できます。

CS-MAGIC

CS-ADVISOR

Microsoft 365 の Word が報告書作成に使用できます。

CS-REPORT

### 3.5.4. Microsoft 365 定期稼働確認 (2022 年 7 月)

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

下記 Microsoft 365 のバージョンについて、CS シリーズが動作することを確認しました。

Microsoft 365 Excel によるグラフ作成

CS-MAGIC

Microsoft 365 Word による報告書作成

CS-REPORT

○サポートバージョン

半期エンタープライズチャンネル

バージョン 2108 (ビルド 14326.21018) 32 ビット

バージョン 2202 (ビルド 14931.20604) 32 ビット

### 3.5.5. Microsoft 365 定期稼働確認 (2023 年 7 月)

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

#### ○概要

下記 Microsoft 365 のバージョンについて、CS シリーズが動作することを確認しました。

Microsoft 365 Excel によるグラフ作成

CS-MAGIC

Microsoft 365 Word による報告書作成

CS-REPORT

#### ○サポートバージョン

半期エンタープライズチャンネル

バージョン 2208 (ビルド 15601.20680) 32 ビット

バージョン 2302 (ビルド 16130.20694) 32 ビット

### 3.5.6. 製品/機能の廃止

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

#### 3.5.6.1. 製品廃止のお知らせ

○対象製品のベンダサポート終了にともなう製品廃止  
2022年1月31日にて、以下の製品を廃止しました。

- ・CS-RMON
- ・APM Interface for Dynatrace

2024年7月31日にて、以下の製品を廃止します。

- ・CS-MySQL
- ・CS-Virtage

#### 3.5.6.2. 機能廃止のお知らせ

○概要

Windows Acquire12.20より、以下の機能を廃止しました。

- ・Windows Acquire
  - エージェントレスデータ収集
  - サイレントインストール



## 第4章 Acquire

### 4.1. 新機能の提供

#### 4.1.1. Acquire 12.20 の提供

	分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

#### ○概要

本リリースから、対象サーバ上でパフォーマンスデータを取得する基本データ収集機能「Acquire」の新バージョン12.20を提供します。Acquire 12.20の対応環境は、以下のとおりです。

Windows Server 2012

Windows Server 2012 R2

Windows Server 2016

Windows Server 2019

Windows Server 2022

AIX 7.1-7.3

Solaris 11.0-11.4

HP-UX 11.3i

Red Hat Enterprise Linux 6.0-6.10 (x64, System z)

Red Hat Enterprise Linux 7.0-7.9 (x64, System z)

Red Hat Enterprise Linux 8.0-8.6 (x64, System z)

Red Hat Enterprise Linux 9.0 (x64, System z)

SUSE Linux Enterprise Server 11.0-11.4 (x64, System z)

SUSE Linux Enterprise Server 12.0-12.5 (x64, System z)

SUSE Linux Enterprise Server 15.0-15.3 (x64, System z)

Oracle Linux 7.0-7.2 (x64)

Oracle Linux 7.7 (x64)

Oracle Linux 7.9 (x64)

Oracle 12c

Oracle 19c

SQL Server 2012

SQL Server 2014

SQL Server 2016

SQL Server 2017 (Windows版)

SQL Server 2019 (Windows版) ※累積更新プログラム CU8以降が必要

Symfoware 11

Symfoware 12 ※Nativeインターフェースのみ対応

IIS 8.0

IIS 8.5

IIS 10.0

## 第5章 Control Center

### 5.1. 新機能の提供

#### 5.1.1. Control Center 12.20 の提供

	分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

#### ○概要

本リリースから、管理用マシン上でパフォーマンスデータの変換／蓄積を行うデータ管理機能「Control Center」の新バージョン12.20を提供します。Control Center 12.20の対応環境は、以下のとおりです。

Windows Server 2022

Windows Server 2019

Windows Server 2016

SQL Server 2019 (Windows版) ※累積更新プログラム CU8以降が必要

SQL Server 2017 (Windows版)

SQL Server 2016 SP2

#### ○前提

上記のSQL ServerのEnterprise Edition、Standard Editionが導入要件となります。

Express Editionは、サポート対象外です。

Microsoft Windows Server 2019 Essentials Editionはサポート対象外です。

Microsoft Windows Server 2016 Essentials Editionはサポート対象外です。

#### ○注意

本リリースから、Control Center関連製品の総称が「Athene」から「Syncsort Capacity Management」に変更されました。それに伴い、Control Centerのサービス名が以下の通り変更されています。既存のES/1管理用マシンでControl Centerを12.20にバージョンアップした場合は、CSシリーズの運用バッチファイル内に記述されているControl Centerのサービス名を適宜修正してください。

Athene 11.20まで	Syncsort Capacity Management 12.20
サービス名 : AtheneCC 表示名 : Athene Control Center	サービス名 : SyncsortCapacityManagementControlCenter 表示名 : Syncsort Capacity Management Control Center
サービス名 : AtheneScheduler 表示名 : Athene Scheduler	サービス名 : SyncsortCapacityManagementCoreScheduler 表示名 : Syncsort Capacity Management Core Scheduler
サービス名 : Athene Job Scheduler 表示名 : Athene Job Scheduler	サービス名 : Syncsort Capacity Management Job Scheduler 表示名 : Syncsort Capacity Management Job Scheduler

## 第6章 CS-REPORT

### 6.1. 新機能の提供

#### 6.1.1. Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能の提供

分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-

#### ○概要

Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能を新規に提供します。

#### ○効果

Microsoft Word を使用せずに CS-MAGIC の Excel グラフを報告書に貼り付けることにより、CS-REPORT をバッチ形式で実行した際の報告書作成動作が安定します。

#### ○前提

以下の条件をすべて満たす場合に、Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能がデフォルトで有効になります。

- 1.新規に V05L21R2 を導入する
- 2.CS-MAGIC「動作環境設定 - Microsoft Office 設定」の「Microsoft Excel の使用を最小限としグラフを作成する」が選択されている

V05L20R2 以前のバージョンからバージョンアップインストールした環境では、従来通り Microsoft Word を使用してグラフ貼り付けを行います。

#### ○詳細

CS-REPORT の実行環境によっては、従来の Microsoft Word を使用してグラフ貼り付けを行う方式だと、バッチ形式での実行時（Windows タスクスケジューラや ES/1 管理コンソール、サードベンダーのジョブ管理製品等からの起動）に回避不可のエラーが発生する場合があります。

Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能を利用することにより、環境依存のエラーが発生することを回避できます。

#### ○使用方法

新規に V05L21R2 を導入する場合は、Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能がデフォルトで有効になっています。

#### ○注意

- ・CS-MAGIC「動作環境設定 - Microsoft Office 設定」の「Microsoft Excel のグラフ作成エンジンを使用する」が選択されている場合、本機能は無効となります。従来通り Microsoft Word を使用してグラフ貼り付けを行います。
- ・本機能で報告書に貼り付けられたグラフの体裁は、従来方式の報告書の体裁と異なります。報告書テンプレートによっては貼り付けグラフの体裁が大きく変わるため、既存の CS 導入環境で回避不可なエラーが発生していないのであれば、従来通りの方式で CS-REPORT の報告書作成を実行してください。  
既存環境でエラーが発生するため本機能のご使用をご希望される場合は、弊社 SE までご連絡ください。
- ・CS-REPORT 報告書テンプレートの設定の際には Microsoft Word を使用します。本機能のグラフ貼り付けを行う環境でも Microsoft Word が導入されている必要があります。
- ・Microsoft Office 2016 の MSI 版（ボリュームライセンス版等）を利用している環境で本機能を使用する場合、「レイアウトを使用しない」タイプの報告書テンプレートは使用できません。

## 第7章 CS-i5

### 7.1. 既存機能の拡張

#### 7.1.1. IBM i (i シリーズ) V7.3 に対応

分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-

#### ○概要

IBM i (i シリーズ) V7.3 が出力する性能データを ES/1 NEO にてデータを取り込み、各種評価が行えるようになりました。

#### ○詳細

IBM i (i シリーズ) V7.3 が出力する下記の性能データファイルを「x2f i5conv」にてフラットファイルに取り込めるように拡張しました。

iSeries システム構成	(表名: QAPMCONF)
iSeries メモリ	(表名: QAPMPOOLB)
iSeries プロセッサ	(表名: QAPMSYSCPU)
iSeries MI ジョブ	(表名: QAPMJOBMI)
iSeries ジョブサマリ	(表名: QAPMJOBOS)
iSeries ディスク装置	(表名: QAPMDISK)
iSeries システム	(表名: QAPMSYSTEM)

#### ○制限事項

下記のフィールドについては、IBM i (i シリーズ) V7.3 の仕様で「予約項目」に変更となりました。そのため、ES/1 NEO では欠損情報「-1」として取り扱います。

iSeries システム (表名: QAPMSYSTEM)

列名	型	説明
SYSDBC	F	データベース CPU 時間(ミリ秒)

## 第8章 MF-z/VM

### 8.1. 既存機能の拡張

#### 8.1.1. z/VM 7.2 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	z/VM

○概要

MF-z/VM において、z/VM 7.2 の環境に対応しました。

○効果

z/VM 7.2 環境の統計情報を取得し、CS-MAGIC にてグラフを作成できるようになります。

## 第9章 CS-DB2

### 9.1. 既存機能の拡張

#### 9.1.1. Red Hat Enterprise Linux 8 環境の DB2 V11.5 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	Red Hat Enterprise Linux 8

#### ○概要

CS-DB2 にて、Red Hat Enterprise Linux 8 環境の DB2 Enterprise Server Edition 11.5 に対応しました。

#### ○効果

IBM DB2 Enterprise Server Edition 11.5 が出力する性能データを ES/1 NEO CS シリーズにて取り込み、各種評価が行えます。

## 第10章 CS-SAP ERP

### 10.1. 既存機能の拡張

#### 10.1.1. トランザクション情報における CUA 関連項目の対応

分類	数値変更	表示変更	特記事項	
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	SAP ERP

○概要

CS-SAP ERP のトランザクション情報において、CUA 関連の項目に対応しました。

○効果

SAP ERP のトランザクション情報における CUA 関連項目を取得し、CS-MAGIC で扱うことができるようになります。

○前提

CUA のデータ項目に対応したモジュール「ABAP016」を使用する必要があります。

○詳細

「SAP ERP トランザクション情報」のレコードに以下のフィールドが追加されました。  
これにより、ユーザ操作の情報を確認することが可能となります。

R3TRN : SAP ERP トランザクション情報  
 CUAREFPROG CUA ref. program  
 CUAINTCMD CUA internal command

○注意

CUA 関連項目を対象とした CS-MAGIC 標準提供クエリーはありません。

**10.1.2. 設定ファイルを任意のパスに置けるように対応**

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	—	—	SAP ERP

○概要

RISE 環境では、設定ファイルを規定のパス「/usr/sap/tmp/IIM」に置けなくなったため、任意のパスへ設定ファイルを置けるようにモジュール対応しました。

また、任意のパスを設定する「プロファイルエントリー登録手順」を追加しました。

○詳細

「ABAP017」にて対応しました。



## 第11章 CS-VMware

### 11.1. 既存機能の拡張

#### 11.1.1. vSphere 8.0 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	VMware

○概要

CS-VMware で、vSphere 8.0 の環境に対応しました。

○効果

vSphere 8.0 環境での性能管理が行えるようになりました。

○前提

- ・CS-VMware オプションを使用
- ・vSphere 8.0 環境

○詳細

vSphere 8.0 環境において、従来からの CS-VMware の出力物がサポートされます。

## 第12章 CS-KVM

### 12.1. 既存機能の拡張

#### 12.1.1. Red Hat Enterprise Linux 8 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	KVM

○概要

CS-KVM において、Red Hat Enterprise Linux 8 の環境に対応しました。

○効果

Red Hat Enterprise Linux 8 環境の KVM 情報を取得し、CS-MAGIC にてグラフを作成できるようになります。

## 第13章 CS-Storage for NetApp

### 13.1. 既存機能の拡張

#### 13.1.1. ONTAP 9.3 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	NetApp

○概要

CS-Storage for NetApp にて、ONTAP 9.3 に対応しました。

○効果

ONTAP 9.3 環境の統計情報を取得し、CS-MAGIC にてグラフを作成できるようになります。

## 第14章 変更一覧

### 14.1. 本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧

#### 14.1.1. 変更一覧

数値変更	表示変更	プロダクト	内容
		ES/1 NEO CS シリーズ全般	Microsoft Windows Server 2022 対応
		ES/1 NEO CS シリーズ全般	Microsoft Office 2021 対応
		ES/1 NEO CS シリーズ全般	Microsoft 365 対応
		Acquire	Acquire 12.20 の提供
		Control Center	Control Center 12.20 の提供
		CS-REPORT	Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能の提供
		CS-i5	IBM i (i シリーズ) V7.3 に対応
		MF-z/VM	z/VM 7.2 への対応
		CS-DB2	Red Hat Enterprise Linux 8 環境の DB2 V11.5 への対応
		CS-SAP ERP	トランザクション情報における CUA 関連項目の対応
		CS-SAP ERP	設定ファイルを任意のパスに置けるように対応
		CS-VMware	vSphere 8.0 への対応
		CS-KVM	Red Hat Enterprise Linux 8 への対応
		CS-Storage for NetApp	ONTAP 9.3 への対応

数値変更 : 本バージョンの適用により、出力される値（数値/文字列）に変更がある場合に●が付きます。

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます。